

目 次

はじめに

序 章	自治体という存在——群民的自治体観と機構的自治体観	I
1	自治体の存在目的	1
2	地域振興への希求	3
3	社会経済基盤の盛衰	7
4	政治基盤の盛衰	11
5	自治体という存在の展望	15
6	章 括	16
第 1 章	国と自治体の役割分担——それぞれが担う行政と政治	19
1	国と自治体の関係とその改革	19
2	国と自治体の関係はどのようにとらえられてきたのか	21
3	国と自治体をめぐる現状と課題	30
4	これからの国 - 自治体関係	39
第 2 章	大都市制度——都市の役割は何か？	43
1	大都市を考える視角	43
2	大都市制度の歴史的系譜	46
3	都制度から都区制度へ	50
4	多様化する指定都市	56
5	人口減少時代における大都市の役割と展望	61
第 3 章	自治体の統治制度——仕組みと運用	64
1	自治体の組織機関の特徴	64
2	自治体の長の地位と権限	68
3	長と議会の関係	70
4	長の補助機関と補助組織	73

第 4 章 地方議会の役割——住民・議会・首長の新たな関係 82

1	地方自治の原則と住民・議会・首長等との関係	82
2	地域経営を担う議会の役割	86
3	議会改革を「住民福祉の向上」につなげる	94
4	議会改革の今後の課題	98

第 5 章 自治立法権——機能と実践 105

1	条例の役割	105
2	憲法と条例の関係	107
3	法律と条例の関係——徳島市公安条例判決	108
4	委任条例	110
5	自主条例	112
6	実践例——ごみ屋敷条例	114
7	自治立法権の未来	121

第 6 章 自治体行政計画——仕組みとプロセス 127

1	自治体行政計画をめぐる環境の変化と継続性	127
2	自治体行政計画の策定プロセス	133
3	自治体行政計画の評価の仕組みとプロセス	141
4	人口減少社会における自治体行政計画	147

第 7 章 自治体の税財政——制度と予算 154

1	政府間財政関係からみた自治体財政	154
2	自治体の歳入構造	158
3	自治体の歳出構造	164
4	自治体の予算	167
5	自治体の財政運営を取り巻く課題	171

第 8 章 自治体と民間の役割分担——すみ分けと協働 178

1	「公共の担い手」のとらえ方の変化	178
2	公共経営論の変遷と行政の役割	185
3	NPO の課題と行政との協働	193

4	ローカル・ガバナンスにおける自治体と民間	197
第9章 まちづくりと自治——まちの政策論		202
1	まちづくりと自己統治	202
2	地区計画の性格と趣旨	206
3	地区計画策定手続の要件と特異性	209
4	創設時に想定されていた地区計画策定手続の意義	212
5	地区計画手続の運用実態	217
6	まちづくりと自治——課題と展望	221
第10章 住民と住民組織——まちづくりの基礎論		227
1	住民組織の由来と政策	227
2	コミュニティ政策／運動の3つの波	233
3	2010年代に進化する地縁団体	238
4	地方自治と住民——「人のお世話をしよう」	243
特別章 地方自治と近代的世界の読み直し		250
1	はじめに	250
2	近代社会と政治	252
3	近代政治とテマゴークの政治	253
4	近代国家の構造	255
5	劣化する近代国家	258
6	おわりに	259

索引

執筆者紹介